

# 検討課題(案)一覧

【配慮すべき事項】

- 発注体制の脆弱さ
- 中小企業・地元企業の育成・振興とのバランス
- 契約関係の明確化
- 当事者間の片務的關係(受発注者間・元下請負間)

	入札前手続			入札	契約	施工過程		その他
	有資格者名簿の作成	調達方法の決定	競争参加資格審査			監督・検査	工事成績評価	
公正な競争の促進(競争性の確保)		JV制度の改善 最適な発注方式のあり方の明確化(CM方式、分離発注方式等の活用や分割発注のあり方)	一般競争入札の改善・拡大					
企業評価の普及・促進(不良・不適格業者の排除、民間の技術力の活用)	データベース	総合評価方式の拡充	入札ボンドの創設	多段階審査・交渉の導入		工事成績評価の拡大と統一		
透明性の確保(発注者の恣意性の排除)	第三者機関		第三者機関の整備	契約関係の明確化(契約変更のルール化) 紛争審査会		第三者機関の整備		
発注体制の強化		発注者支援機関の整備				発注者支援機関の整備		土木技術に関する資格制度の整備

# 入札契約制度改革の検討の方向

## 〔現状〕

- ・重大・悪質な談合事件(官製談合を含む)の発生
- ・ダンピング、不良工事の発生

## 〔建設業を取り巻く環境〕

- ・深刻な過剰供給構造
- ・品質確保法の施行
- ・改正独占禁止法の施行

## 〔改革の視点〕

ダンピングや談合等不正行為のない競争性・透明性の高いシステムの導入

「VFMの実現」と「技術と経営に優れた企業の伸張」が可能なシステムの構築

## 〔改革の方向〕

一般競争入札の改善・拡大

総合評価方式の拡充

改革を実施するための制度改善・条件整備

市場機能を活用した企業評価のための「入札ボンド」の導入

高い技術力による競争を促進するための「多段階審査と交渉」の導入

発注者による評価の増大に対応する中立性・公正性の確保のための「第三者機関」の整備

等